

# 第25回育成会文化祭りのご報告



沖縄県では復帰50周年記念事業として、国民文化祭と令和4年度に芸術文化祭を開催いたします。全県に亘って開催いたします。観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業などの各分野と連携し、地域の文化資源の活用を促進し、地域活性化を図ります。また、各種文化活動の提供を図ります。方法として、交流の場を全国大会と同様に

手をつなぐ・うちな〜  
知的な障がいのある人と共に  
県育成会のHPにもカラーで掲載中

発行所  
沖縄県手をつなぐ育成会  
那覇市首里石嶺町4-373-1  
沖縄県総合福祉センター内  
TEL 098 - 882 -5727  
FAX 098 - 882 -5720  
E-mail:oki-iku@woody.ocn.ne.jp  
HP : http://www.oki-iku.com  
発行人 理事長 田中 寛  
定価 50円(会費を含む)

加画博作い常に祭止充曾県 芸り様をい加自じ芸 すし各  
者いしい物品る生より対満有手そ術開の深にを信て術同。て都  
や感かた館発技活るの策しのをの文催祭め対促を、や様 い道  
来染しし・表術の舞形もてコつ意化さ典るす進創そ文の化、 府  
場状、て美のや中台態あい口な向祭れとこるす出の化、 文  
者況終お術場独で発をりるナぐにがてしと国るし方活障 化の  
のを息り館と自十表、、現感育賛同りる、目のと自のへい 祭  
皆鑑のまにしの分に従今状染成同りる、目的理も立生のの 典  
様み兆して、趣に換来年度の感県は、。障13しと、社が加 回  
の展見を県よし、合文染内、沖 害年た認障 会を人 あり  
感展見を県よし、合文染内、沖 害年た認障 会を人 あり  
染参え 計立るて日体化防に未縄 者よ同識が参や通の 催

【目次】

- P1 第25回育成会文化祭りについてご報告
- P2 第25回育成会文化祭り入選作品のご紹介
- P3 虐待防止権利擁護研修会(法人独自)の報告・理事通信
- P4 ゆんたく広場・県育成会予定他

不安解消対策として、集合体から作品集に変更せざるを得ませんでした。文化祭りの趣旨は、障がいのある人が芸術や文化活動への参加を通じて、その方々の生きがいや自信を創出し、自立と社会参加を促進することと、社会参加を促進することを目的としております。今回の育成会文化祭りの大変急な企画変更にも関わらず、絵画部門57点(団体9・個人48)、書道部門10点、手工芸部門21点(団体2・個人19)など、個性豊かな作品から、自由な個性を伸ばすには、芸術性にあふれた素晴らしい作品の参加が寄せられました。心より感謝を申し上げます。(第25回育成会文化祭り作品集総評より)

♪入選作品を次ページに載せています♪



# 第25回育成会文化祭り入選作品のご紹介

入選された皆様、誠におめでとうございます☆入選された皆様には賞状と副賞が贈られました♪

☆ 銀賞 ☆



アートキャンプ2001実行委員会  
「顔」 野原 優子  
(ワークセンター南城たんぼぼ所属)

★ 金賞 ★



おきなわ工房 「大きな木の下」  
おきなわ工房の皆様

【絵画部門】

★ 金賞 ★



就労支援センター首里  
宮里 和美

☆ 銀賞 ☆



特定非営利活動法人ていーだかんかん  
「春水満四澤」 天久 希

【書道部門】

★ 金賞 ★



八重山地区手をつなぐ育成会  
「タペストリー」 仲松 幸清  
(八重山育成園所属)

【手工芸部門】

☆ 銀賞 ☆



よもぎ学園 「虹の洗濯物」 よもぎ学園31名の皆様



# 令和3年度障害者虐待防止・権利擁護研修のご報告

沖縄県手をつなぐ育成会主催  
 で「令和3年度障害者虐待防止・  
 権利擁護研修会」を、2月21日  
 (月)に、オンラインにて開催し  
 ました。  
 令和4年4月より、障がい事  
 業所では、虐待防止委員会(仮  
 称)、虐待防止責任者、虐待防  
 止研修が義務化されることになっ  
 た事により、事業所管理者のみ  
 ならず、支援員の意識も高まっ  
 ており、熱意のある受講状況が  
 画面でも伝わってきました。  
 研修内容は、3つの簡素化し  
 た個人ワーク後に、障害者権利  
 擁護として、障害者差別解消法  
 の合理的配慮、障害者虐待防止法  
 の趣旨などについて2時間の講  
 義をオンライン研修として行い、  
 受講後には「受講証明書」を発  
 行いたしました。  
 は、終了後の受講者アンケートに  
 、「改めて考えることがいつ  
 ぱいあった内容で、日頃の行動、  
 発言、一つ一つを意識して、利  
 用者と接していくべき意見がた  
 くさんあり  
 ました。  
 今後、県育成会は積極的な権  
 利擁護研修を行い、障がいのあ  
 る当事者や家族、その支援者  
 の皆様にも積極的に研修を行っ  
 ていく所存です。



贈呈式の様子

令和3年11月15日(月)に、  
 県手をつなぐ育成会チャリ  
 ティングゴルフ大会の報告会が、  
 3月25日(金)県総合福祉  
 センターにて行われました。  
 金額約45万円は、チャリテイ  
 ゴルフ大会実行委員会から  
 県育成会にご寄付いただき  
 ました。この温かいご支援を  
 意義に活用させていただきます。  
 皆さまの温かいご支援を有  
 意させていただきます。報告  
 さま

令和3年度チャリティーゴルフ大会  
 寄附金贈呈式



## 理事通信

― 親なき後 ―

副理事長 砂川 好彦

去った2月26日、第55回沖

縄県知的障がい者教育・福祉・  
就労研究大会で「親なき後、

地域で安心して暮らせるためには？」をテー  
 マにシンポジウムが開かれました。

やはり、気になるのは親なき後、成年後  
 見制度でした。成年後見人の選任、成年後  
 見人の権限が及ばない事項や注意を必要と  
 する事項等多くを知ることが出来ました。

また、市民後見人も存在するとのことを  
 初めて知りました。全国育成会でも昨年こ  
 の制度についてアンケート調査を行い、そ  
 の結果を機関誌「手をつなぐ」10月号にも  
 掲載されています。知的障害者が利用する  
 には報酬など課題が多いとして、制度利用  
 者はまだまだ少ないですが「利用してよかつ  
 た」との声もありました。

平成28年成年後見制度の利用の促進に関  
 する法律を制定し課題の整理と解決法策の  
 検討を進めています。それを受けて、県・  
 市町村は、成年後見制度利用促進協議会を  
 設置して、どうすれば利用しやすいかを検  
 討しています。

その人らしさを支える存在として、成年  
 後見制度は、親なき後をも考える上で重要  
 な制度です。が、今のままでは使えません。  
 法改正に向けて行かねばならないと考え  
 ます。

